

地域材フェアトレーディングの仕組みを作ろう

～額田の優良材活用社会実験 報告会～



山主・林業者が自ら木材流通や価格決定の仕組みを学び、高品質な商品を製造し
正当な価格で販売する。愛知県岡崎市額田地域で日本初となる地域材フェアト
レーディングの仕組みづくりにチャレンジした試みの成果をもれなく披露します。
この仕組みに参画したい・自分の地域にも導入したい林業関係者や製材所、工務
店はぜひご参加ください！

■日時：2019年3月21日（木・祝） 13時～16時

■場所：額田センターこもれびかん 集会室 岡崎市榎山町字山ノ神21番地1

■内容：第1部 社会実験の概要と報告

(一社)奏林舎 唐澤晋平/(有)ウッズ 中島彩/山主/製材所/工務店

第2部 新たな流通の仕組みづくりの意義 (有)ウッズ 能口秀一

優良材マッピング NPO法人穂の国森林探偵事務所 高橋啓

山主アンケート結果報告 丹羽健司&森林文化アカデミー有志

第3部 全体ディスカッション 今後の展開をみんなで考える

■参加申し込み：ご氏名、ご所属、お電話番号を以下連絡先まで(担当:唐澤)

(一社)奏林舎 ☎090-2982-8771 FAX:050-3488-4630 info@sourinsha.org

主催：兄弟木の駅会議
助成：(公財)トヨタ財団

共催：モリタナプロジェクト実行委員会
協力：愛知県西三河農林水産事務所林務課

社会実験への歩みと目的

岡崎市額田地区は明治時代から植林を進めてきた歴史ある林業地で、優良なヒノキ材を生産するため手塩にかけて山を育ててきました。しかし、木材価格の下落に伴い、山主の山への関心は薄れ、本来であれば『地域の宝』である優良材が埋もれたままの資源となっています。

そこで私たちは優良材がその価値に見合う価格で流通する仕組みを、地域内で生み出す事ができることを証明する社会実験にチャレンジしました。

2018年から山主と小規模製材所と地域工務店が連携し、高品質な内装材の製造・販売を計画しました。山主が木材の価値を定め価格設定に関わる事で、諦めていた山への意識を高めることに地域ぐるみで挑みました。地域材のフェアトレーディングを通じて持続可能な森づくりと地域づくりを目指す社会実験の成果と課題を報告し、より良い仕組みづくりや他地域への展開に向けて皆さまと議論を深めたいと思います。



社会実験の仕組み

